

イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 2

－ 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 －

道総研 中央水産試験場 資源管理部

後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

- ・ 5月1日時点で体長 16～21mm が主体
- ・ まもなく本格的な漁期入りか

調査の概要

2018年5月1日に島牧海域においてコウナゴの初漁がありました。今年のコウナゴの初漁は、昨年（4月22日）より8日遅くなりました。初漁の漁獲物からの標本を測定しましたので、結果をお知らせします。島牧漁業協同組合をはじめ、調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

体長組成と漁期前半の見通し

上の図が4月14日の漁期前調査、下の図が今回の体長組成です。初漁の漁獲物は、この時期としては小さく体長16～21mmの小型群が大半を占めていました。この小型群は成長しながら順次、漁獲適正サイズ（22mm以上）に達しますので、まもなく本格的な漁期に入ると考えられます。

また、今回、体長29～34mmの大型個体も少ないながら、みられました。これらは漁期前調査の主群（19mm前後）が成長したものと考えられますが、漁期前調査での採集尾数が多くなかったことから、量的には少ないと考えられます。

今後も漁獲状況や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

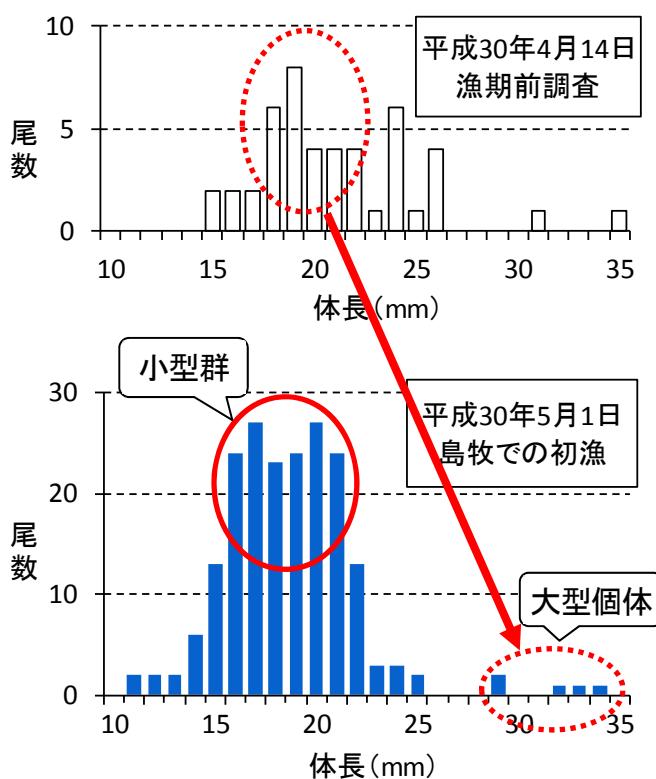


図 漁期前調査（上）と初漁（下）の体長組成